【２０１９　輝きカップ　　審判上の確認】

審判委員長・事務局

１．　競技規則

（１）　令和元年度・公益財団法人日本バレーボール協会制定６人制競技規則による。

（２）　各セットとも、リードしているチームの得点が１１点に達した時点で、給水のための
テクニカルタイムアウト（以下、給水タイム）を３０秒採用します。
選手の健康と安全に十分配慮し、選手が速やかに給水できるようにしてください。
なお、給水タイムは、タイムアウトや選手交代（以下、正規の中断）の要求、リベロ同士の交代よりも優先されます。正規の中断や、リベロ同士の交代を行う場合は、給水タイム後に行ってください。

（３）　給水タイムは給水および汗拭きを目的としているため、給水タイム中は次の点に注意してください。
プレーヤーウォームアップエリアにおいて給水してください。給水タイム中、チームスタッフは、ベンチに着席していてください。作戦など指示はしないでください。ただし、マネージャーが選手の場合には、給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは許可します。

（４）　コート・ワイピングは、コート内の競技者が行うことを原則とします。試合中、競技者は小さなタオルを身につけて、汗でぬれた場合はコート内の競技者で拭いてください。ただし、審判の指示により、ベンチの競技者モップを使用することがあります。

（５）　けが防止のため「両チーム同意のもと、センターライン踏み越し防止テープを設置し試合を行うことができる。」（女子、小学生のみ）ただし、実行委員会からは準備しませんので、必要なチームは各チームで準備してください。

２．　ユニフォーム

（１）　ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければいけません。（リベロプレーヤーを除く）

（２）　リベロプレーヤーは、他の競技者とはっきりと区別ができる対照的な色のユニフォームを着用してください。（左右対称・上下対称ではなく、はっきりと区別ができること）

（３）　競技者番号は、シャツ胸部（中央）高さ１５ｃｍ以上、シャツ背部（中央）高さ２０ｃｍ以上、（小学生は胸部１０ｃｍ以上、背部１５ｃｍ以上）いずれも字幅は２ｃｍ以上で、使用する番号は、１～２０番が望ましい。 また、チームキャプテンは、胸部のナンバー下に長さ８ｃｍ、幅２ｃｍのマークを、ユニフォームと異なった色で付けなければいけません。（テーピングなど剥がれやすいものは不可）

（４）　アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはいけません。ただし、プレーの動作によって、ユニフォームの下から見えてしまうことは、故意に見せるものでない限り、制限されません。

３．　ベンチスタッフの服装

（１）　チームスタッフの服装は、チームで統一された服装にしてください。短パン、ハーフパンツでのベンチ入りは許可しません。本年度からベンチスタッフの服装でＴシャツが許可されましたが、本大会においてはＴシャツを着用する場合、主催者が斡旋したものにしてください。（カラーなど統一してください）

（２）　部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー章は、必ず左胸部に着用してください。

（３）　指導者による主審等の審判時の服装についても、ベンチでの服装に準じます。

４．　不法な行為について

（１）　同一人による同一セットまたは同一試合での繰り返しは、累進的な制裁を受ける。

①　「非スポーツマン的行為」および「不作法な行為」については、そのプレーヤーおよびチーム役員個人に対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
原則として次の手順を踏むが、行為の内容によっては最初からレッドカードも有り得る。

（例）警告　ステージ１：口頭での警告　　警告　ステージ２：イエローカードでの警告
ペナルティ：レッドカードを示し、相手に１点を与える。
退場：イエロー・レッドカードを同時に示す（そのセット終了までペナルティ・エリアに座る）
失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）

②　「攻撃的行為」については、１回目で失格とする。

５．その他

日本バレーボール協会のコンプライアンス規定に従い、暴力、体罰、審判への苦情など、無きよう、各自、各チームで話し合い、御協力頂きます様宜しく御願いいたします。

日本バレーボール協会ＨＰ・ＪＶＡコンプライアンス　→

←日本小学生バレーボール連盟・倫理規定